

令和6年度 No. 3

中南の社会教育

令和6年9月4日発行

こども・担当者のために
中南教育事務所
学校・地域の応援隊

9月に入りましたが、8月と同様に暑い日が続いています。中南管内の事業を訪問すると、暑い中でも、こどもからお年寄りまで意欲的にイベントへ参加しており、元気もらっています。

今回は、田舎館村民限定イベント「村民レクリエーションまつり」と、西目屋村の暗門大学（成人大学）講座「終活を始めよう！～わたらしい最期を迎えるために～」の様子を御紹介します。

中南教育事務所 主任社会教育主事 秋谷 啓児

田舎館村「村民レクリエーションまつり」【令和6年8月18日（日）】

田舎館村民限定イベントとして、「村民レクリエーションまつり」が田舎館村中央公民館で開催されました。当日は、「地区対抗カラオケ大会」「地区対抗ユニカール大会」「地区対抗バスケット大会」の3つの大会が行われ、会場の田舎館村中央公民館には、読み聞かせコーナーやアートバルーン配布コーナーなど5つの無料コーナーが設置されていました。

「地区対抗カラオケ大会」では日頃の練習の成果を発揮し、各地区の代表者が美声を響かせていました。審査員の鈴木孝雄村長やライスボールから感想をもらった参加者のうれしそうなお表情がとても印象的でした。カラオケ大会のハーフタイムには、ライスボールがミニライブで会場を盛り上げていました。

「地区対抗ユニカール大会」や「地区対抗バスケット大会」では小学生が代表となって活躍している地区があり、老若男女、幅広い参加者が見られた村民レクリエーションまつりでした。

3つの大会を応援する人や5つの無料コーナー（こどもにはアートバルーンコーナーが、大人には成田専蔵珈琲コーナーが人気でした。）を楽しむ人など、大勢の村民で賑わっていました。



西目屋村「終活を始めよう！～わたらしい最期を迎えるために～」【令和6年8月21日（水）】

西目屋村暗門大学（成人大学）の学生を対象に、暗門大学講座「終活を始めよう！～わたらしい最期を迎えるために～」が、終活カウンセラー協会理事・認定終活講師 村井 麻矢氏を講師に招き、西目屋村中央公民館の大研修室で開催されました。

講師の村井氏が、参加した学生に優しく話しかけながら和やかな雰囲気をつくり、「人生100年時代」に向け、データを示したり、実体験に触れたりしながら、エンディングノートの記入を含めた終活の必要性について講話を行いました。学生はお年寄りが多かったため、最初から難しい話をするのではなく、身近なことを話題にしながら、学生のペースに合わせて講座を進める姿が印象的でした。

講座の最後に、エンディングノートの一部を抜粋したものを実際に記入することで、「家族のためにできること」が明確になり、「家族や周囲の人に対して自分の意思を伝えることができる終活は大切だ」と実感できたようです。参加した学生にとって、終活の必要性について真剣に考えるきっかけとなっていました。

